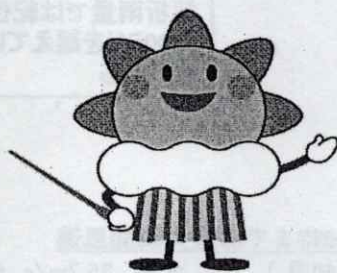


和歌山県の気象特性 と防災情報について



気象庁マスコットキャラクター
はれるん

令和2年11月29日
和歌山地方気象台
防災管理官 島田 昇司

はじめに

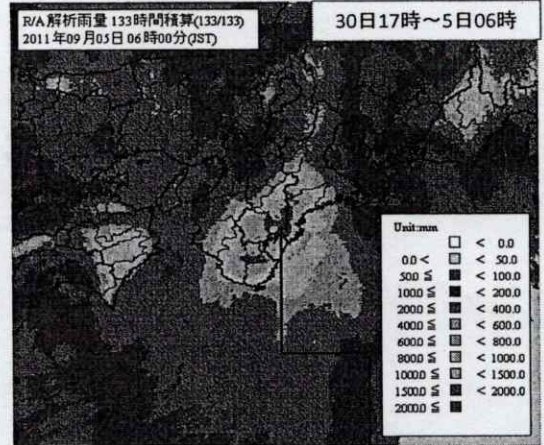
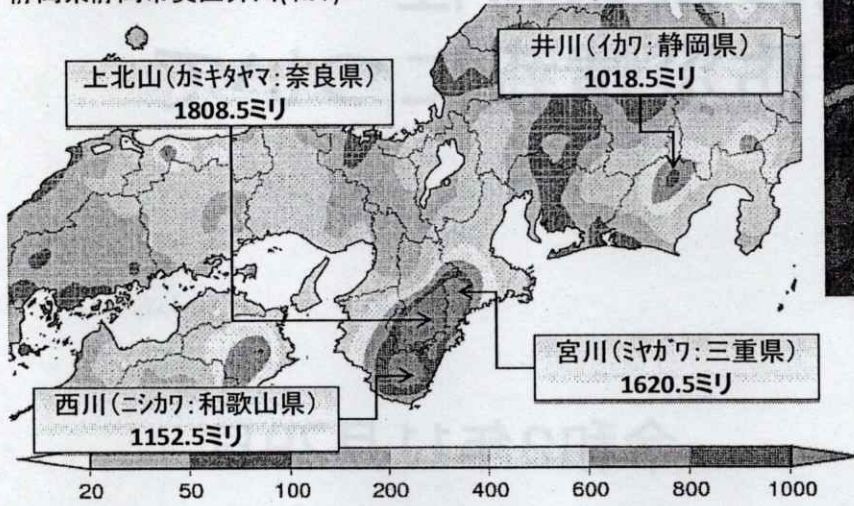
和歌山県では過去にしばしば大雨災害が発生しています。全国的にも毎年のように記録的な大雨で多くの方が亡くなる甚大な災害が発生しています。

本日は、大雨災害をもたらす和歌山県の気象特性や台風等の気象現象についてお話します。あわせて、災害から身を守るための防災気象情報の利用方法などをお話します。

和歌山県の大雨災害(平成23年台風第12号)

30日17時から5日06時までの総降水量(アメダス)

奈良県吉野郡上北山村上北山(カキタヤマ)	1808.5ミリ
三重県多気郡大台町宮川(ミヤカワ)	1620.5ミリ
和歌山県東牟婁郡古座川町西川(ニシカワ)	1152.5ミリ
静岡県静岡市葵区井川(イワ)	1018.5ミリ



解析雨量では紀伊半島で2000ミリを超えているところがある

30日17時から05日06時までの最大風速

日和佐(ヒワサ: 徳島県)	東	24.3m/s	09/02 22:37
蒲生田(カモウダ: 徳島県)	東	23.9m/s	09/02 22:02
津(ツ: 三重県)	東南東	23.7m/s	09/02 16:58

30日17時から05日06時までの最大瞬間風速

室戸岬(ムロトシサキ: 高知県)	北東	35.7m/s	09/02 13:41
南紀白浜(ナンキシラハマ: 和歌山県)	南東	35.0m/s	09/03 06:30
彦根(ヒコネ: 滋賀県)	南東	34.0m/s	09/03 08:06

和歌山県の大雨災害(平成23年台風第12号)

台風 24人死亡54人不明



紀伊半島 土砂崩れ・氾濫

台風12号の被害は、紀伊半島の各地で深刻な被害をもたらしている。土砂崩れや氾濫による死者・行方不明者が増えている。また、多くの家屋が全壊または半壊し、床上浸水の被害も広がっている。

牛歩台風 桁外れの雨



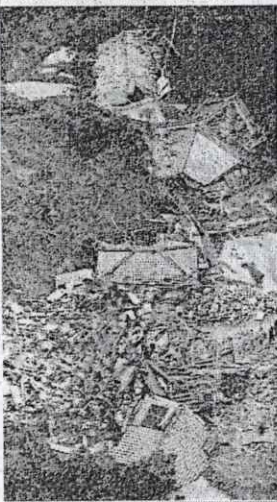
1808ミリ 都心の1年分

巨大な目 周辺で被害

台風12号は、紀伊半島に上陸し、非常に強い勢力で北上した。和歌山県を中心に、記録的な大雨が降った。最大瞬間風速は35.7メートルに達し、多くの家屋が倒壊した。また、河川が氾濫し、多くの地域が水浸しになった。

死者・不明80人

土砂崩れで家屋が崩壊した現場で検出される遺体と靴 (本誌ヘリから)



台風12号被害拡大

台風12号の被害は、和歌山県を中心に拡大している。死者・行方不明者は80人に達し、全壊・半壊の家屋は3538棟、床上浸水の被害も500棟に達している。また、多くの地域で断水・断電が発生している。

自治体	死者	行方不明	全壊	半壊	床上浸水
和歌山県	24	54	1000	1500	500
奈良県	1	1	50	100	50
三重県	1	1	50	100	50
徳島県	1	1	50	100	50
高知県	1	1	50	100	50
滋賀県	1	1	50	100	50
合計	29	59	1200	1800	600

台風第12号の報道から

見送られた

台風12号は、紀伊半島に上陸し、非常に強い勢力で北上した。和歌山県を中心に、記録的な大雨が降った。最大瞬間風速は35.7メートルに達し、多くの家屋が倒壊した。また、河川が氾濫し、多くの地域が水浸しになった。

避難勧告 指示 発令判断に慎重

台風12号の被害は、紀伊半島の各地で深刻な被害をもたらしている。土砂崩れや氾濫による死者・行方不明者が増えている。また、多くの家屋が全壊または半壊し、床上浸水の被害も広がっている。

山間部の孤立 どう防ぐ

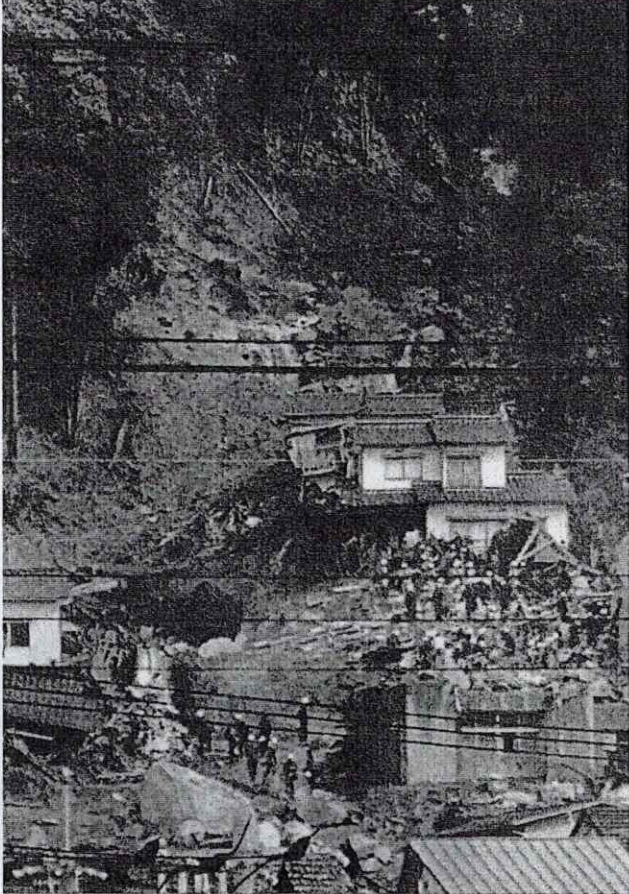
交通 通信 断絶 各集落に避難所必要

台風12号は、紀伊半島に上陸し、非常に強い勢力で北上した。和歌山県を中心に、記録的な大雨が降った。最大瞬間風速は35.7メートルに達し、多くの家屋が倒壊した。また、河川が氾濫し、多くの地域が水浸しになった。

死者・行方不明者: 98名
全・半壊: 3538棟
床上浸水: 500棟
H23. 9. 28現在

相次ぐ大雨災害

平成26年8月20日 広島市の土砂災害



平成27年9月 関東・東北豪雨
(鬼怒川氾濫)



提供：国土交通省関東地方整備局

5

相次ぐ大雨災害

平成29年7月九州北部豪雨

福岡県朝倉市
出展：国土交通省ホームページ



6

相次ぐ大雨災害

※平成30年7月8日13時10分発表の国土交通省中国地方整備局報道発表資料より

平成30年7月豪雨

左岸側浸水状況



【位置図】



倉敷市真備町を流れる小田川の堤防が決壊し、広範囲に浸水した。

右岸側浸水状況



令和2年7月豪雨

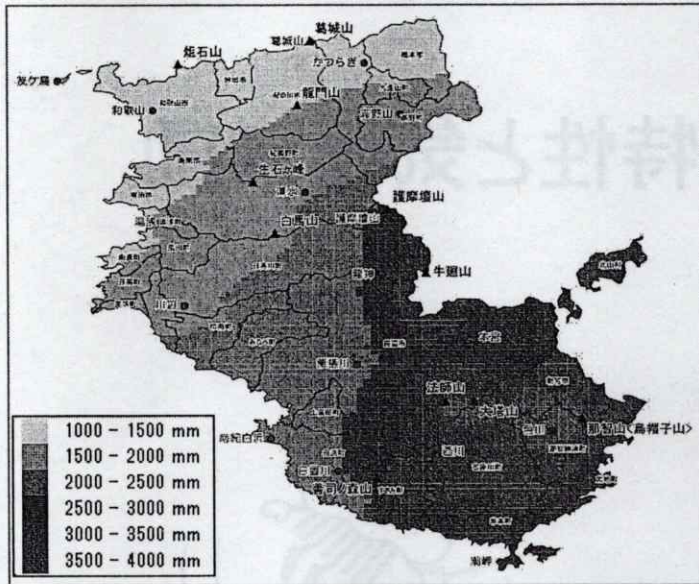


九州地方整備局HPより

和歌山県の気象特性

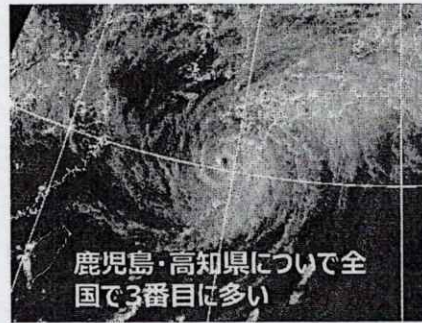
年降水量が多い

紀北や紀中の沿岸部では1500ミリ以下
南部の山間部は3500ミリを超える

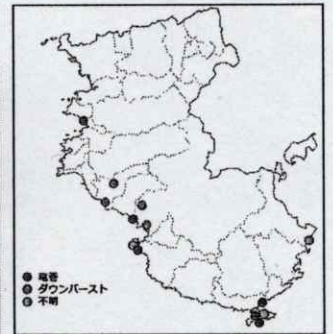


年降水量平年値図
統計期間：1981年～2010年

台風の上陸数が多い



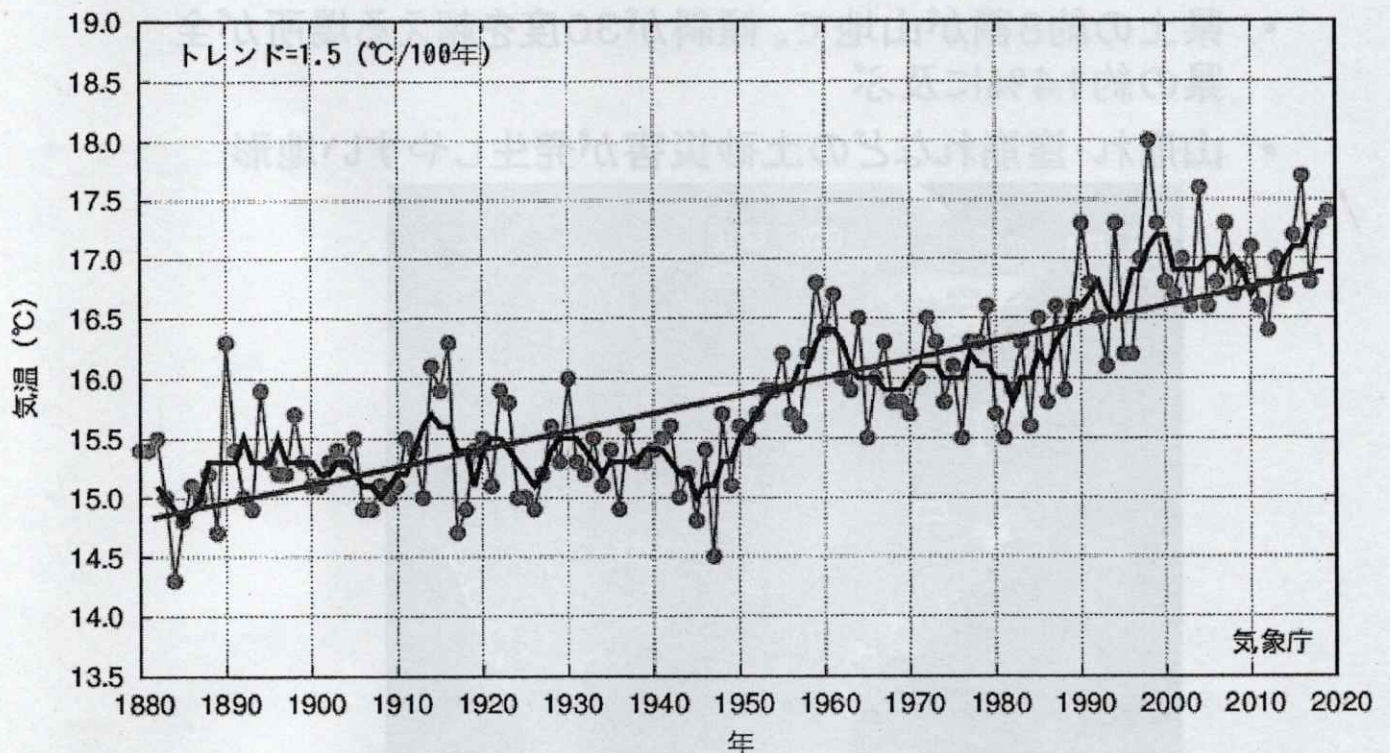
突風が多い



竜巻等突風の発生分布
(2011年～2016年10月5日)

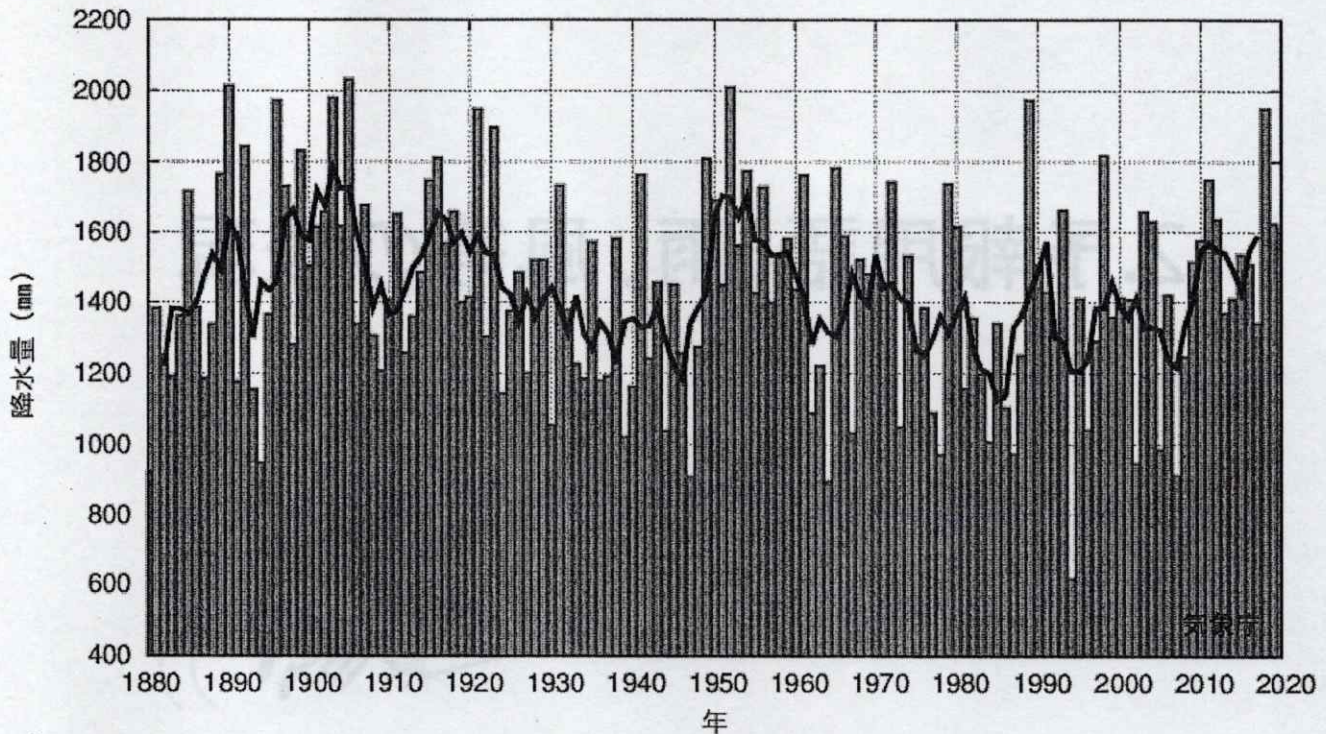
気象庁リーフレット「急な大雨・雷・竜巻
-ナウキャストの利用と防災-」より

和歌山市の年平均気温(1880～2019)



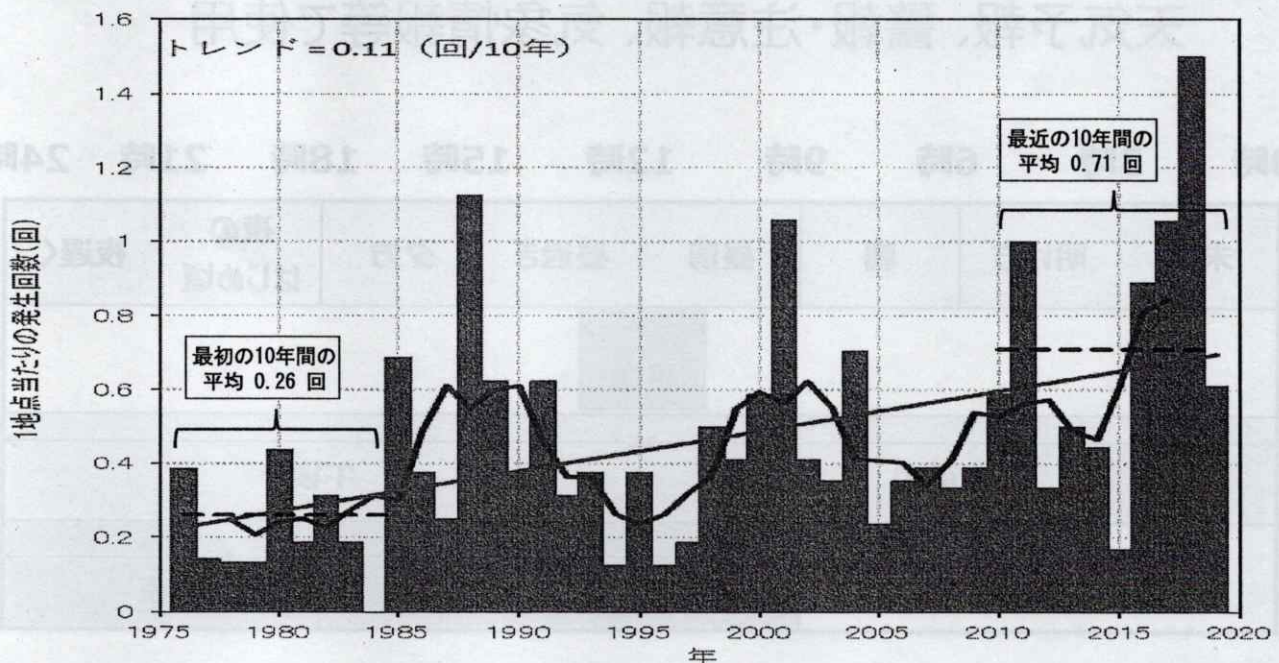
和歌山市の気温の上昇は100年で1.5°C、日本の気温の上昇は100年で1.24°C。
日本より和歌山市の気温の上昇が大きいのは、都市化の影響が考えられる。

和歌山県の年降水量(1880~2019)



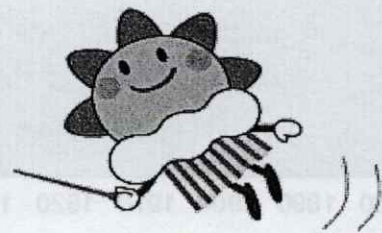
日本の年降水量と同様に和歌山県の年降水量は年々の変動が大きく、明瞭な傾向が無い。

和歌山県アメダス1時間降水量50ミリ以上の発生回数(1976~2019)



日本の1時間降水量50ミリ以上の発生回数は増加している。和歌山県でも最近10年間の発生回数(0.71回)は、最初の10年間の発生回数(0.26回)と比べて約2.7倍に増加。

2. 予報用語：雨、風等の表現



防災気象情報で使用する時間細分

天気予報、警報・注意報、気象情報等で使用

0時	3時	6時	9時	12時	15時	18時	21時	24時
未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	
			昼頃					
午前中				午後				
			日中			夜		

予報用語（気象庁HP）

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/yougo_hp/mokuji.html

雨の降り方

- 1.強い雨→1時間に20ミリ以上 30ミリ未満
どしゃ降り。側溝があふれる。
- 2.激しい雨→1時間に30ミリ以上 50ミリ未満
バケツをひっくり返したように降る。
道路が川のようになる。
- 3.非常に激しい雨→1時間に50ミリ以上 80ミリ未満
滝のように降る。
- 4.猛烈な雨→1時間に80ミリ以上
恐怖を感じる。

er

17

風の強さ

- 1.やや強い風→平均風速10m/s以上 15 m/s未満
風に向かって歩くにくくなる。
傘がさせない。
- 2.強い風→平均風速15m/s以上 20m/s未満
風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。
高所の作業は極めて危険。
- 3.非常に強い風→平均風速20m/s以上 30m/s未満
何かにつかまっていないと立ってられない。
飛散物によって負傷する恐れがある。
(屋外の作業は極めて危険)
- 4.猛烈な風→平均風速30m/s以上
または瞬間最大風速が50m/s以上
屋外の作業は極めて危険。

OS

18

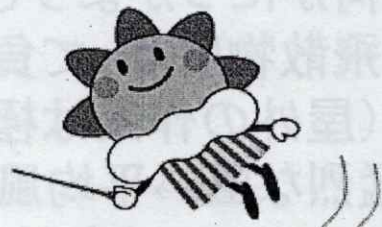
波の高さ

1. おだやか → 0から0.1メートルまで
2. おだやかなほう → 0.1を超え0.5メートルまで
3. 多少波がある → 0.5を超え1.25メートルまで
4. 波がやや高い → 1.25を超え2.5メートルまで
5. 波が高い → 2.5を超え4メートルまで
6. しける → 4を超え6メートルまで
7. 大しけ → 6を超え9メートルまで
8. 猛烈にしける → 9メートルを超える

19

3. 大雨をもたらす要因

- ・ 低気圧・前線
- ・ 台風
- ・ 線状降水帯

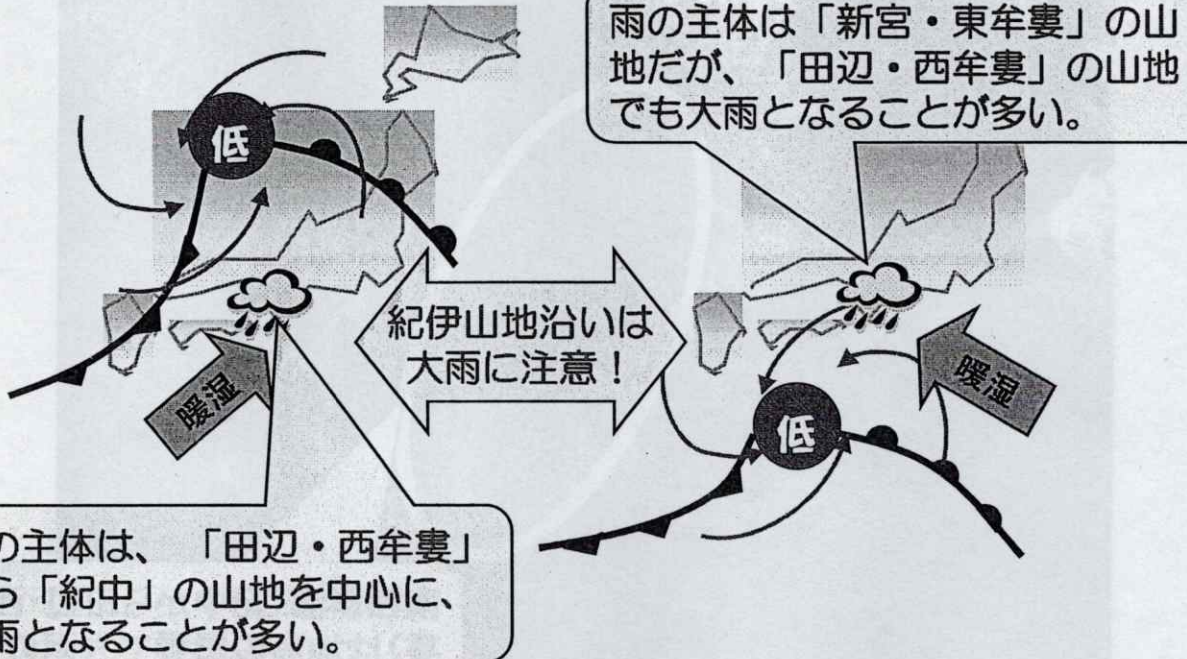


20

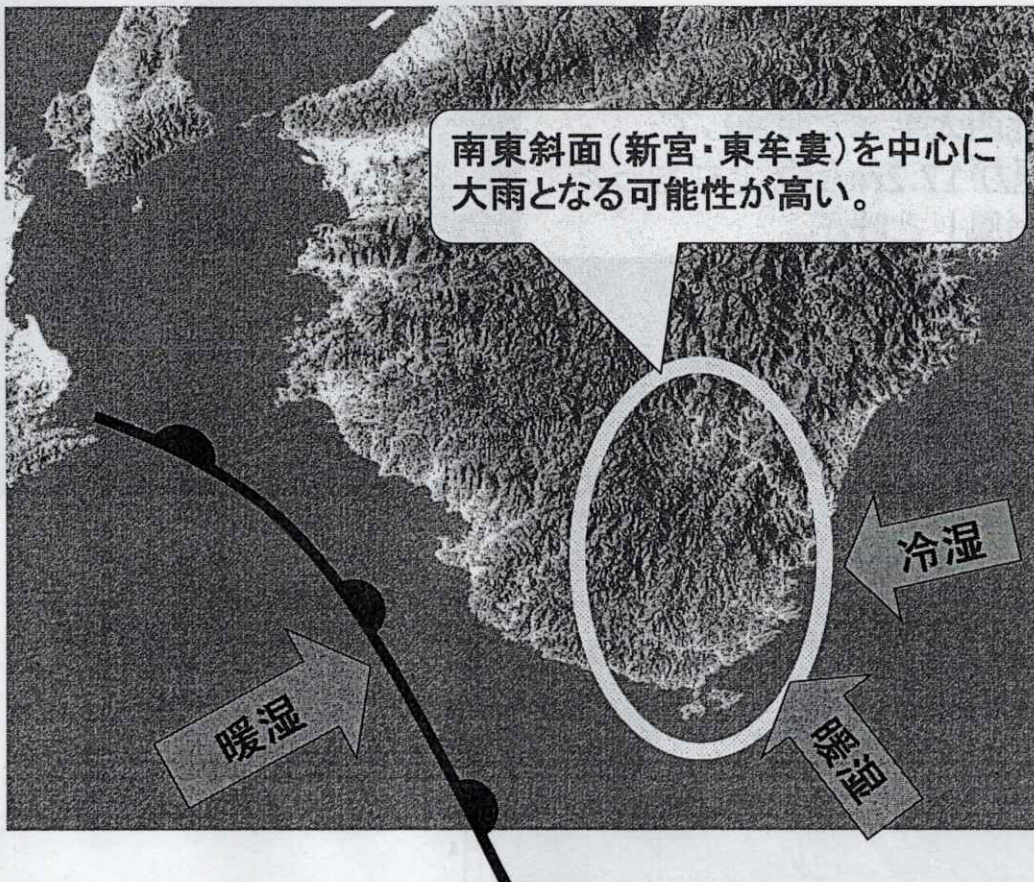
和歌山県(紀伊山地)の大雨

日本海低気圧

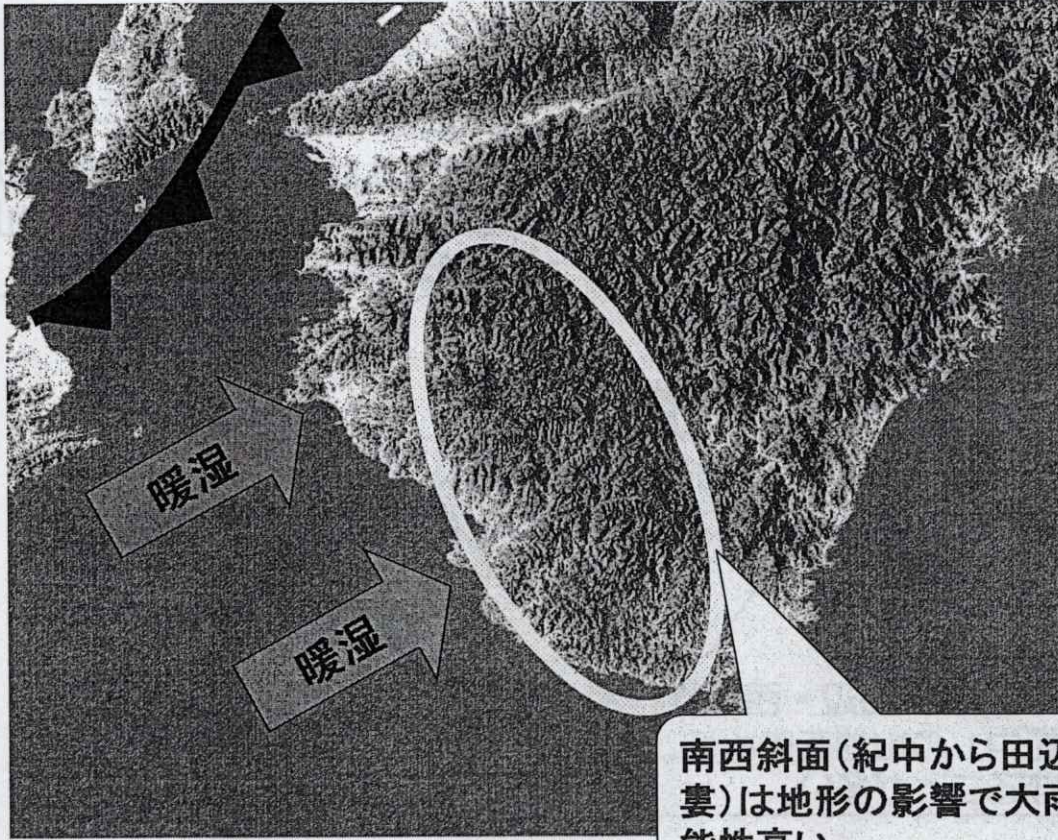
南岸低気圧



温暖前線



寒冷前線



南西斜面(紀中から田辺・西牟婁)は地形の影響で大雨の可能性高い。

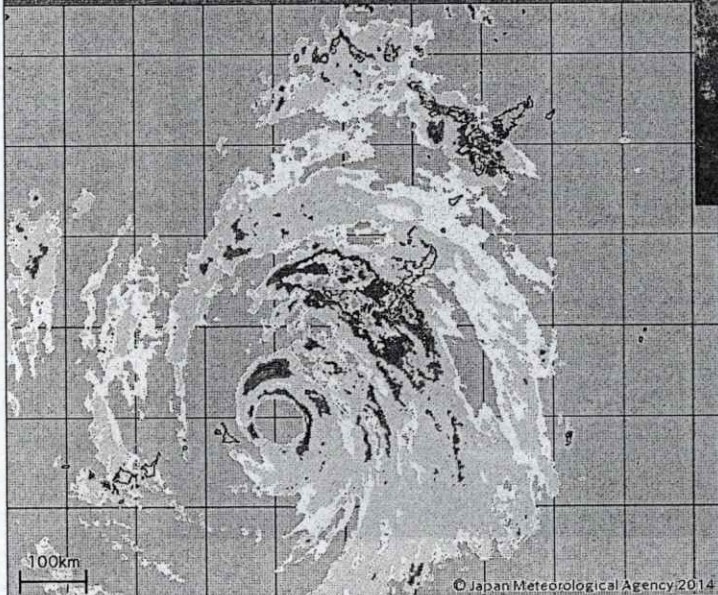
台風とは

熱帯や亜熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼び、この内、北西太平洋で発達して最大風速が17.2m/s以上になったものを「台風」と呼ぶ。

可視画像で見た台風第8号(2014年7月8日)



09:00 JST, 08 July 2014

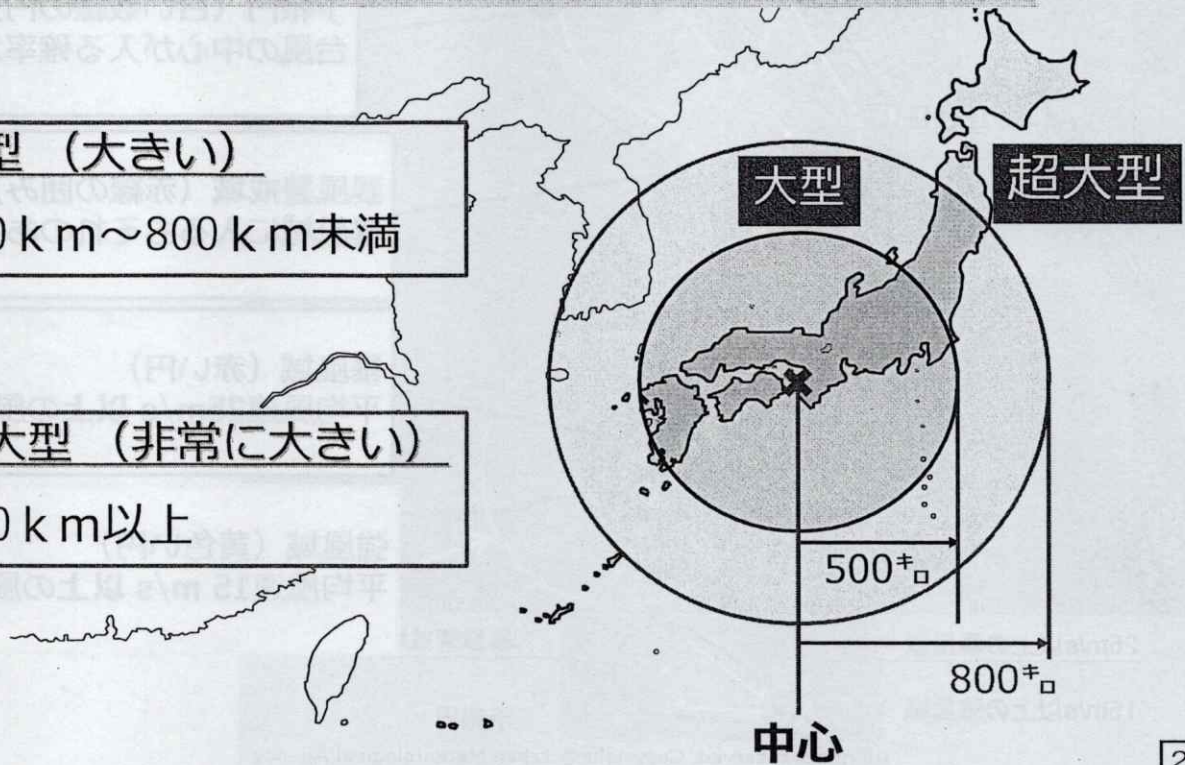


台風の大きさ

強風域(平均風速15m/s以上)の半径で決定

大型 (大きい)
500 km~800 km未満

超大型 (非常に大きい)
800 km以上



台風の強さ

最大風速で決定

強さ階級分けの最大風速値

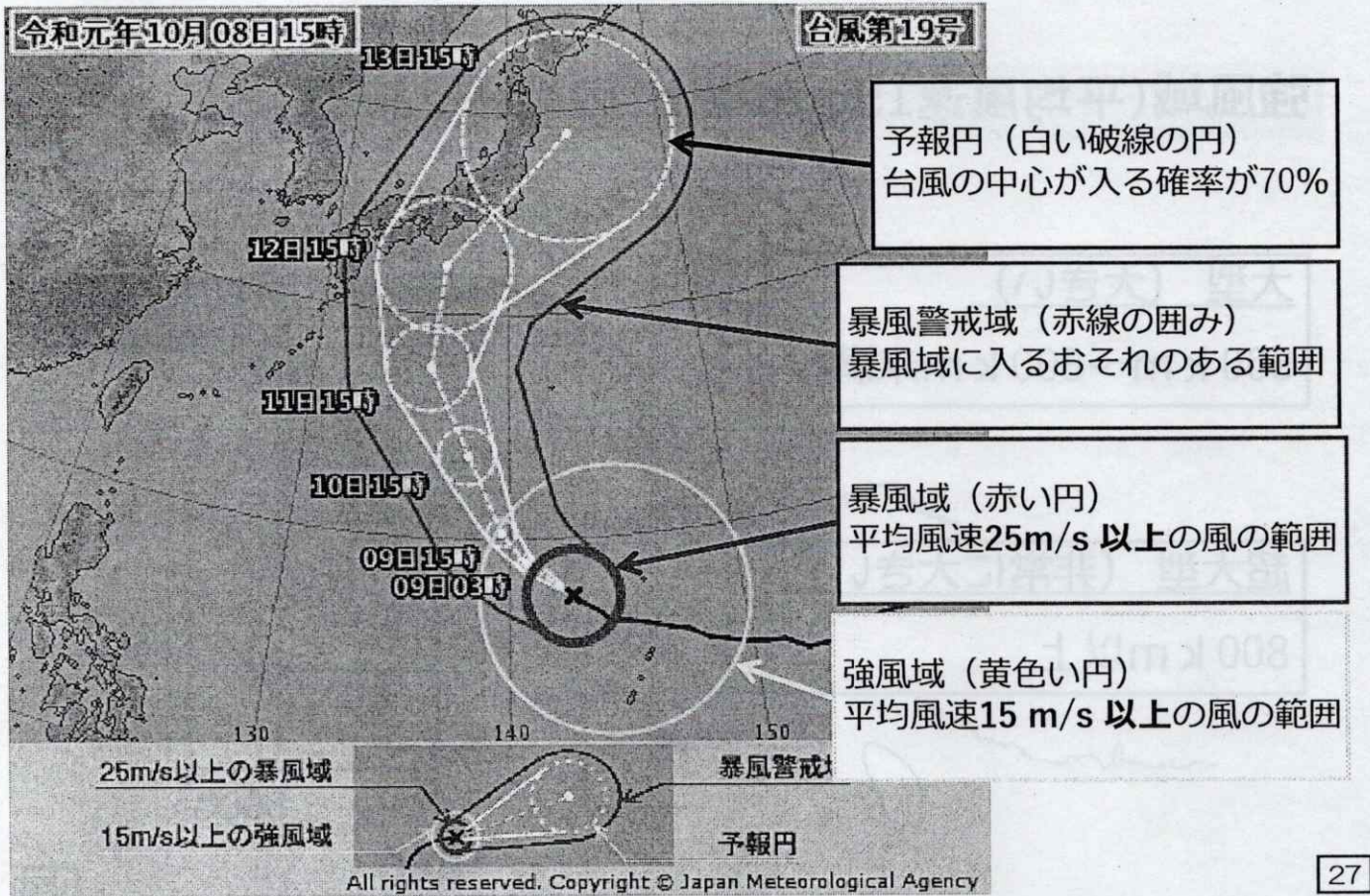
(m/s)	猛烈な		
54	非常に強い	(m/s)	平均風速で30m/sを超えてくると屋外での行動は極めて危険となります
44	強い	40~	鉄骨構造物で変形するものがある 住家で倒壊するものがある
33		35~40	走行中のトラックが横転する
25		30~35	固定の不十分な金属屋根材がめくれる
17		25~30	屋根瓦が飛散するものがある
		20~25	細い木の枝が折れる
		15~20	看板やトタン板が外れ始める
	(熱帯低気圧)	10~15	傘がさせない

台風の強さの分類

最大風速

風速と被害の状況

台風の進路予想



線状降水帯とは

線状降水帯は、気象の分野では古くから使われていた用語ですが、近年、一般的に使用されるようになりました。

線状降水帯のはっきりした定義はありませんが、気象庁では「次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をともなう雨域」と定義しています。

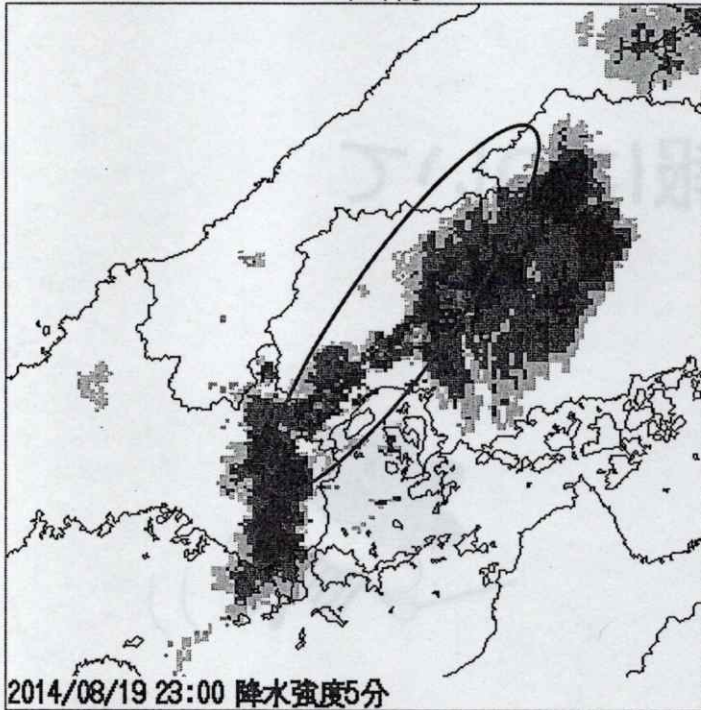
参考：集中豪雨とは

同じような場所で数時間にわたり強く降り、100mmから数百mmの雨量をもたらす雨。

積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返すことにより起き、重大な土砂災害や家屋浸水等の災害を引き起こす。

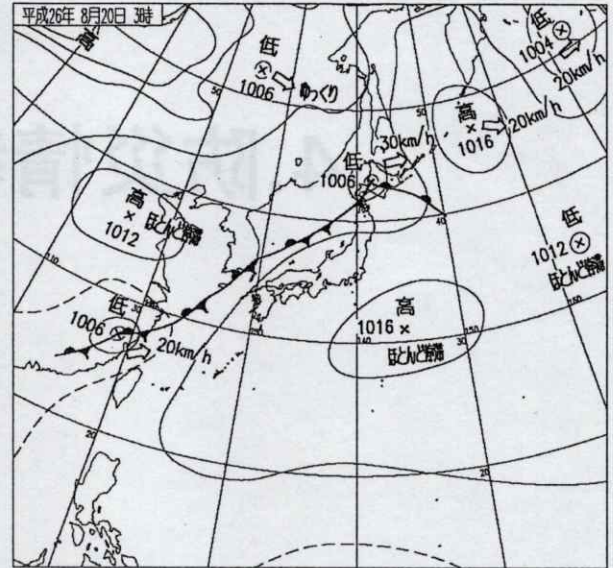
過去事例 H26年広島の土砂災害

レーダー画像



8月19日23時～20日5時

地上天気図

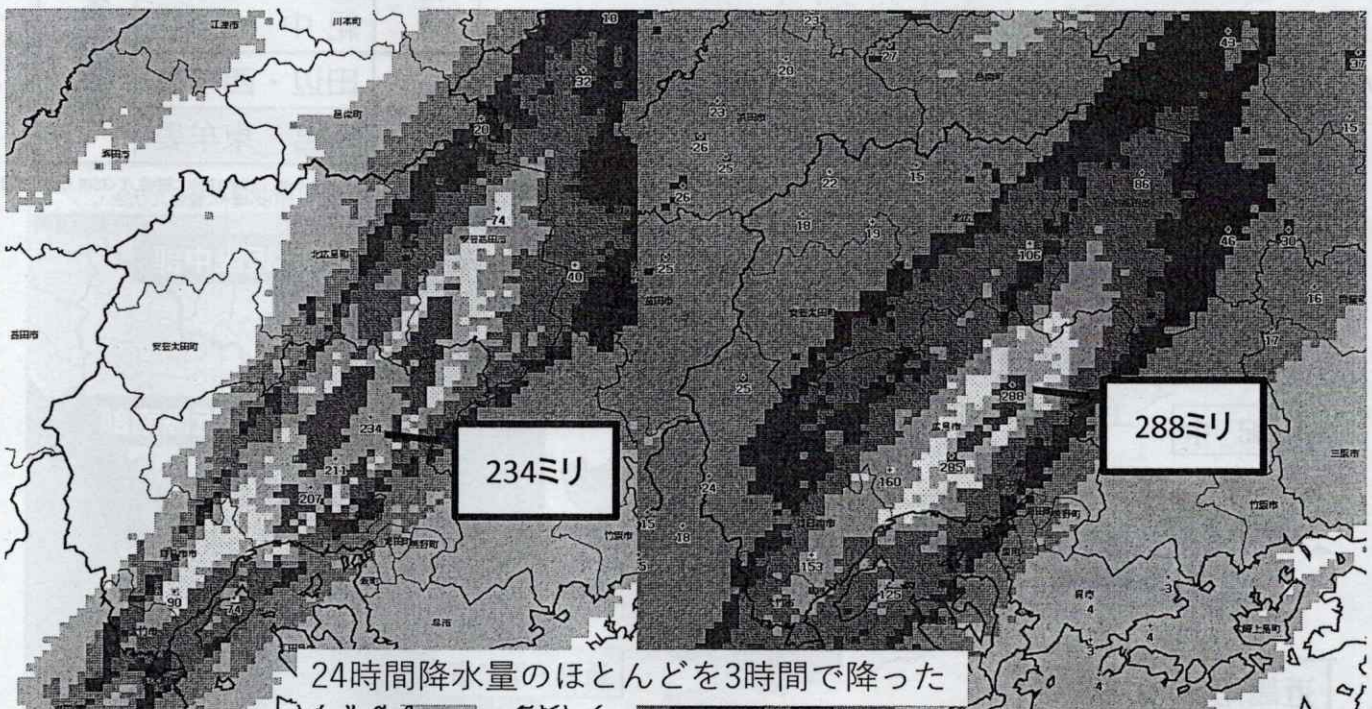


8月20日3時

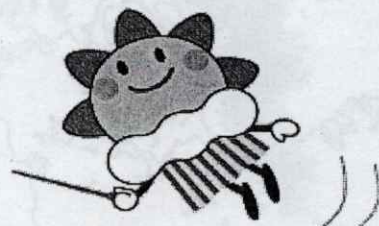
過去事例 期間雨量 (解析雨量)

3時間降水量 (8月20日1時～4時)

24時間降水量 (8月19日4時～20日4時)



4.防災情報について



天気予報等の発表区分



- ・ **警報**（重大な災害の起こるおそれがある場合）
暴風、暴風雪、大雨、大雪、高潮、洪水、波浪
があります。
- ・ **注意報**（災害の起こるおそれがある場合）
大雨、洪水、大雪、強風、風雪、波浪、高潮、
濃霧、雷、乾燥、なだれ、着雪、霜、低温、
（融雪、着氷）
があります。

32

33

特別警報

暴風、暴風雪、大雨、大雪、高潮、波浪

があります。

数十年に一度の大雨などが予想された場合に特別警報が発表します。

警報の発表基準をはるかに超える異常な現象が予想され、重大な災害が起こるおそれが著しく大きい場合に発表します。

経験したとこのないような激しい豪雨や暴風など異常な気象現象が起こりそうな状況です。
ただちに命を守る行動をとってください。

36

34

気象情報

警報・注意報に先だって注意を呼びかけたり、警報・注意報を補完したりするために発表する情報です。

また、警報や注意報の対象ではない、社会的に影響の大きな天候の状況なども気象情報として発表することもあります。

- ・〇〇に関する気象情報（全般・地方・府県）
- ・台風情報
- ・竜巻注意情報
- ・記録的短時間大雨情報
- ・指定河川洪水予報
- ・土砂災害警戒情報
- ・高温注意情報
- ・高温に関する気象情報 などがああります。

35

指定河川洪水予報

河川の増水や氾濫などに対する水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるように、国土交通省または和歌山県と共同して発表。

対象河川：紀の川、熊野川、有田川、日高川、古座川



36

土砂災害警戒情報

大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難勧告や住民の自主避難の判断を支援するよう、市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。

発表例 和歌山県土砂災害警戒情報 第3号

共同発表
である

和歌山県 和歌山地方気象台 共同発表

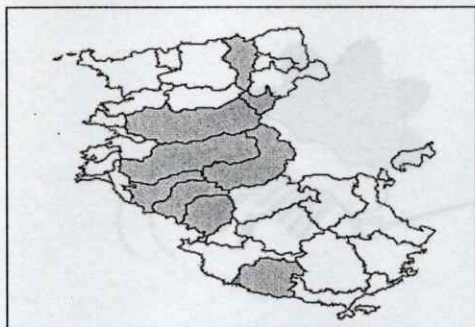
【警戒対象地域】

田辺市田辺 田辺市龍神 かつらぎ町 有田川町 印旛町 みなべ町 日高川町
すさみ町*

*印は、新たに警戒対象となった市町村を示します。

【警戒文】

<概況>
降る続く大雨のため、警戒対象地域では土砂災害の危険度が高まっています。
<とるべき措置>
避難が必要となる危険な状態となっています【警戒レベル4相当情報【土砂災害】】。崖の近くや谷の出口など土砂災害の発生しやすい地区にお住まいの方は、早めの避難を心がけるとともに、市町村から発表される避難勧告などの情報に注意してください。
<補足事項>
危険度の分布は、和歌山県や気象庁のホームページで確認できます。
和歌山県「土砂災害警戒判定分布図」、気象庁「大雨警報(土砂災害)の危険度分布」



警戒対象地域

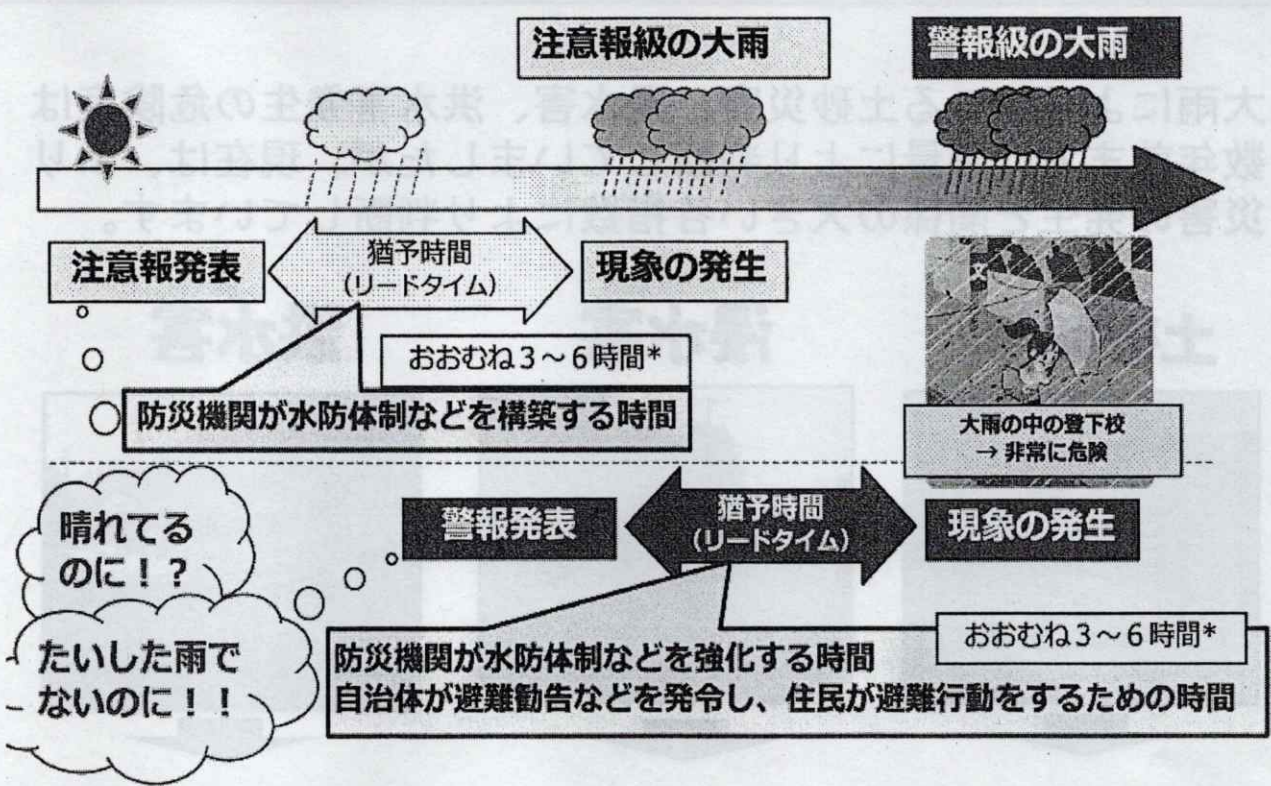
問い合わせ先
075-441-3171 (和歌山県国土整備部河川・下水道部砂防課)
<http://kosenabc02.pref.wakayama.lg.jp/>
075-422-1528 (和歌山地方気象台)
<https://www.jwr.go.jp/jf/dohahamsh/>

・避難勧告(警戒レベル4)の判断に資する情報(警戒レベル4相当情報)として都道府県と気象台が連携して発表(共同発表)

警戒対象の市町村名(田辺市のみ細分化)

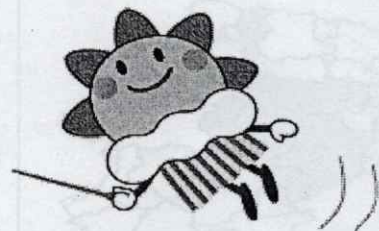
注：土砂災害警戒情報は、降雨から予測可能な土砂災害のうち、避難勧告等の発令が必要な土石流や集中的に発生する急傾斜地崩壊(がけ崩れ)を対象としています。
技術的に予測が困難である地すべり等は、土砂災害警戒情報の発表対象とはしていません。
また、個別の災害発生箇所・時間・規模等を詳細に特定するものではありません。

注意報・警報発表のタイミング



※現象の予想が難しい場合には、結果としてこうしたリードタイムが確保できない場合もあります。

5. 浸水害、土砂災害、洪水害の危険度分布

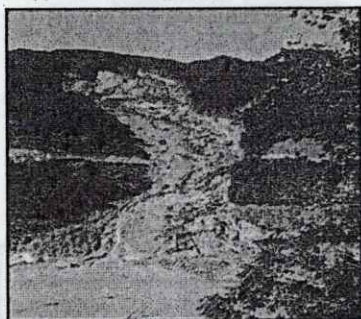


39

大雨により起こる災害の危険度（雨量から指数へ）

大雨により起こる土砂災害、浸水害、洪水害発生危険度は数年前までは雨量により判断していましたが、現在は、より災害の発生と関係の大きい各指数により判断しています。

土砂災害



土壌雨量指数

浸水害



表面雨量指数

洪水害

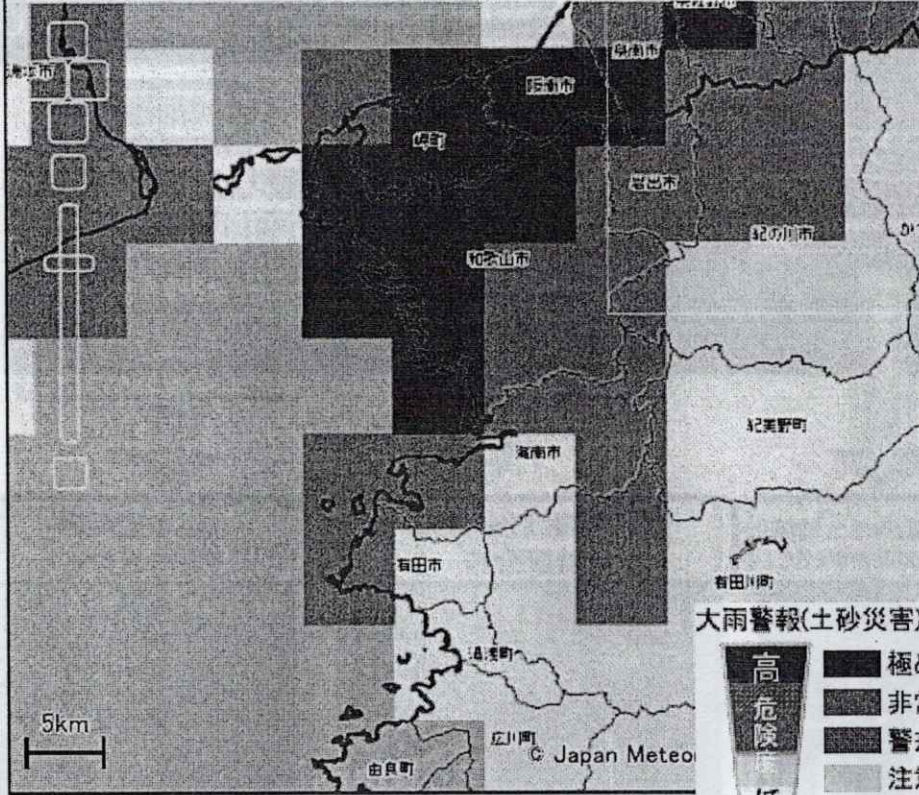


流域雨量指数

40

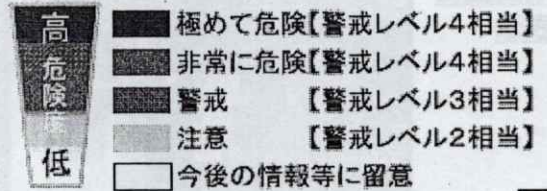
平成30年7月6日06:00の危険度分布（土砂災害）

2018年07月06日06時00分



危険度分布
(土砂災害)
動画

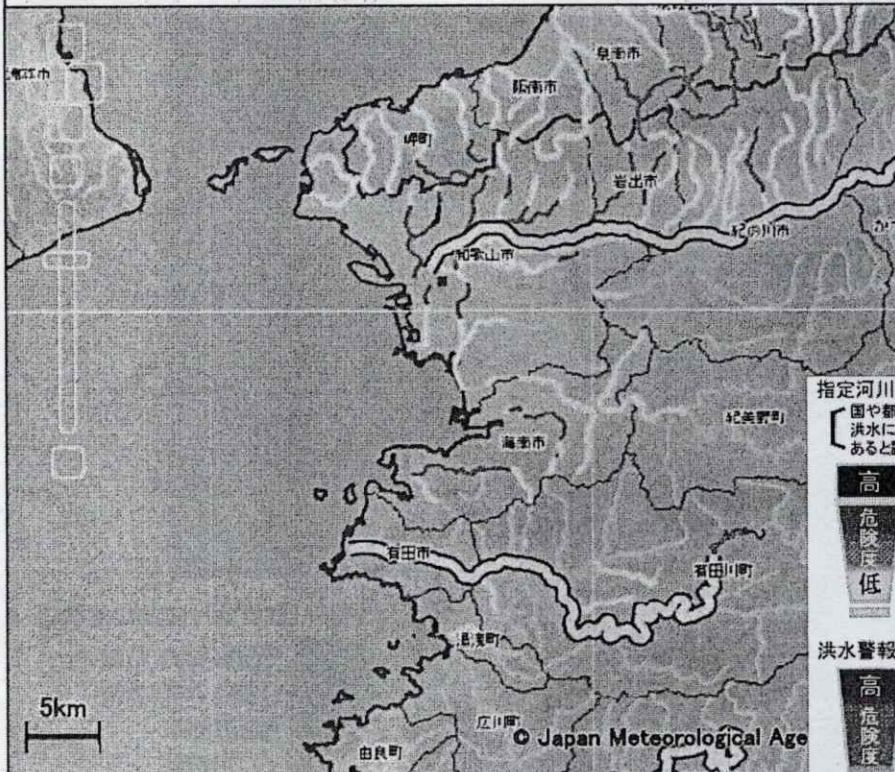
大雨警報(土砂災害)の危険度分布



43

平成30年7月6日06:00の危険度分布（洪水害）

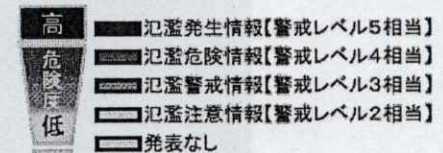
2018年07月06日06時00分



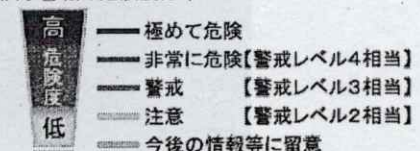
危険度分布
(洪水害)
動画

指定河川洪水予報

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。



洪水警報の危険度分布



44

警報・注意報 危険度を色分けした時系列

令和 元年 8月14日16時19分 和歌山地方気象台発表

和歌山県の注意警戒事項

南部では、土砂災害や河川の増水に警戒してください。和歌山県では、高波に警戒してください。

印南町 [発表] 高潮注意報
[継続] 波浪警報 雷, 強風注意報
15日昼過ぎまでに暴風警報に切り替える可能性が高い

警報級の現象
(大雨や暴風
など) が予想
される時間帯

現在発表中の、
警報・注意報。
■ : 警報
□ : 注意報
▨ : 警報に切り替える可能性が高い注意報

警報・注意報等の種別	今後の推移(■警報級 □注意報級)										発生する現象
	14日					15日					
	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		
強風 風向風速 (矢印・メートル)	陸上 12	12	12	12	12	15	15	20	20	以後も警報級	
海上	15	15	15	15	15	20	20	25	25	以後も警報級	
波浪 波高 (メートル)	6	6	6	6	7	7	7	7	7	以後も警報級 うねり	
高潮 潮位 (メートル)	1.3	1.3	▨	▨	▨	▨	▨	▨	▨	ピークは14日18時頃	
雷										以後も注意報級 竜巻	

警報は、警報級の現象が予想される時間帯の最大6時間前に発表します。
□で着色した種別は、今後警報に切り替える可能性が高い注意報を表しています。
各要素の予測値は、確度が一定に達したものを表示しています。
警報や注意報の発表、切替、解除を行った場合、本ページは通常は数分以内に更新していますので、ページを再読み込み、最新の情報をご利用ください。

注意報級の現象
(大雨や強風
など) が予想
される時間帯

早期注意情報 (警報級の可能性)

〇〇県南部の早期注意情報 (警報級の可能性)

南部では、4日までの期間内に、暴風、波浪警報を発表する可能性が高い。
また、4日明け方までの期間内に、大雨警報を発表する可能性がある。

翌日まで
・天気予報と合わせて発表
・時間帯を区切って表示

2日先～5日先まで
・週間天気予報と合わせて発表
・日単位で表示

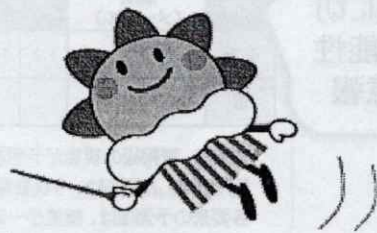
種別	警報級の可能性								
	3日		4日			5日	6日	7日	8日
	明け方まで 18-6		朝～夜遅く 6-24						
大雨	[中]		-			-	-	[中]	-
暴風	-		[高]			-	[中]	[高]	-
波浪	-		[高]			-	[中]	[高]	-

[高]: 警報を発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。明日までの警報級の可能性が[高]とされているときは、危険度が高まる詳細な時間帯を本ページ上段の気象警報・注意報で確認してください。
[中]: [高]ほど可能性は高くありませんが、命に危険を及ぼすような警報級の現象となりうることを表しています。明日までの警報級の可能性が[中]とされているときは、深夜などの警報発表も想定して心構えを高めてください。
※警戒レベルとの関係
早期注意情報(警報級の可能性) *...[警戒レベル1]
* 大雨に関して、明日までの期間に[高]又は[中]が予想されている場合。

翌日まで
前日の夕方の段階で、必ずしも可能性は高くないものの、夜間～翌日早朝までの間に警報級の大雨となる可能性もあることが分かる!

2日先～5日先まで
数日先の荒天について可能性を把握することができる!

6. PCやスマートフォンで雨の様子や危険度分布を見ることができます。



47

気象庁HPトップ(NEW)

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

気象庁
Japan Meteorological Agency

ホーム 防災情報 **ここをクリック** 知識・解説 気象

天気 大雨・台風 地震・火山 地図から選択

天気予報
5時、11時、17時の1日3回発表

アメダス
数値、雨、雪や風等の観測データを見る

ここをクリック

雨の様子(雨雲の動き/今後の雨)
雨雲の動きを見る

天気図
低気圧や前線の位置を見る

48



和歌山地方気象台

Wakayama Local Meteorological Office

サイトマップ

台長からのメッセージ | 高温・トラブ地震に関連する情報 | **熱中症に注意** 熱中症ポータルサイト | e-ラーニングで楽しく学ぶ「自らの命を自らが守る」

防災気象情報と警戒レベル | この雨大丈夫？そんな時 **危険度分布**

新着情報

- 6月10日「近畿地方の雨入りについて」を掲載しました
- 6月10日「和歌山県の気象4月」を掲載しました
- 6月8日「よまはぎの陸花」を観測しました
- 6月3日「あじさいの開花」を観測しました
- 6月1日「和歌山県農業気象速報(月下旬)」を掲載しました
- 5月25日「和歌山県の地震4月」を掲載しました
- 5月21日「しおからとんぼの初見」を観測しました
- 5月15日「ヤマツツジの開花」を観測しました
- 5月13日「和歌山県農業気象速報(月上旬)」を掲載しました

お知らせ

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、天気相談・資料館の窓口業務を当面の間休止しますのでお知らせします。なお、電話による相談・問い合わせについては、通常どおり平日の08時30分から17時15分まで実施します。防災気象情報は、当HPもしくは気象庁HP(こちら)をご利用ください。
- 令和2年2月3日 令和2年4月1日から和歌山地方気象台の「天気に関する問合せ」の対応時間が08時30分～17時15分(平日のみ)に変わります。時間外の天気予報等の問い合わせは自動音問による気象情報

和歌山県の気象情報(気象庁HPへのリンク)

和歌山県版気象庁HPデータリンク集

警報・注意報



詳細な地方気象情報を

ここをクリック

- 気象警報・注意報等
- 気象警報・注意報
- 警報の危険度分布
- 土砂災害
- 洪水
- 早期注意情報(警報級の可能性)
- 県県気象情報

天気予報



詳細な予報を表示します

- 天気予報等
- 最新の天気予報
- 週間天気予報
- 季節予報
- 早期天候情報
- 2週間気温予報
- 天気分布予報・地域時系列予報(地域時系列予報は地図上をクリック)

レーダー・ナウキャスト

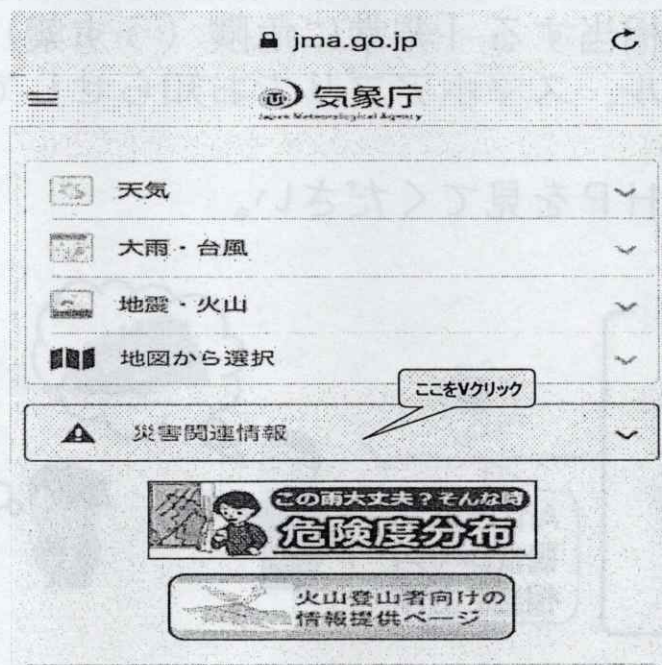


詳細な情報を表示します

- レーダー・アメダス等
- 雨の様子
- 雨雲の動き
- 今後の雨
- レーダー・ナウキャスト(降水・雷・竜巻)
- 地上天気図
- 気象衛星
- 黄砂情報(実況図・予想図)

スマートフォンで危険度分布を見る→気象庁HPで検索

気象庁HPトップ画面



例：洪水害

jma.go.jp

メニューで危険度分布等を選択

- ホーム
- 雨雲の動き
— 気象庁衛星水ナウキャスト —
- 今後の雨
— 降水短時間予報 —
- 土砂災害
— 土砂災害(土砂災害)の危険度分布 —
- 洪水害
— 大雨警報(洪水害)の危険度分布 —
- 洪水
— 大雨警報(洪水害)の危険度分布 —

凡例

指定河川洪水下り

- 注意発生情報【警戒レベル5相当】
- 注意発生情報【警戒レベル4相当】
- 注意発生情報【警戒レベル3相当】
- 注意発生情報【警戒レベル2相当】
- 発生なし

洪水警報の危険度分布

- 極めて危険
- 非常に危険【警戒レベル4相当】
- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】

今後の情報等に留意

地図・ランドマークに国土交通省 国土情報データのデータを利用しています。(行政区域、標高・傾斜度5メッシュ、湖沼、道路、鉄道、河川)

ツールで表示を設定

- 表示状態を保存
- 表示状態を復元
- 自分を中心に表示
- カラー地図
- 白地図
- 河川
- 鉄道
- 道路
- 市町村名
- 同心円

**設定→再生で
6時間前から最新
まで動画**

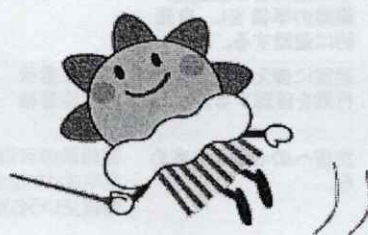
危険度分布の通知サービス

危険度分布は気象庁HP等で見るすることができます。しかし、大雨の時ずっと見ていることも難しいです。そこで、今年から自分の身の回り（登録した地域）で警戒レベル4に相当する「非常に危険（うす紫）」が出現したらメール、スマホアプリでお知らせしてくれます。

詳しくは気象庁HPを見てください。



7. 警戒レベル（警戒レベル相当情報）について



警戒レベルと警戒相当情報

内閣府はH30年7月豪雨を踏まえ「避難勧告等に関するガイドライン」がH31.3改定されました。これにこたえるため気象庁は警戒レベル〇相当情報として防災気象情報に取り込むこととしました。

土砂災害警戒情報や指定河川洪水予報の警戒文や見出し文に記述し、対応する（R1.5.29提供）。その他については気象庁HPの「防災情報と警戒レベル」の凡例で確認してほしいと考えます。

警戒レベル導入にあたって大事なことは
市町村が発令する避難勧告等に耳を傾け速やかに行動に移してほしいと考えます。

気象台が発表する防災情報等に留意し、平成30年7月豪雨の教訓を踏まえて、明るいうちの早めの行動をお願いします。

警戒レベル相当情報 ～防災気象情報と警戒レベル～

警戒レベル	住民が取るべき行動	住民に行動を促す情報		住民が自ら行動をとる際の判断に参考となる情報 (警戒レベル相当情報)		
		避難情報等	洪水に関する情報			
			水位情報がある場合	水位情報がない場合	土砂災害に関する情報	
警戒レベル5	既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる。	災害発生情報※1 ※1可能な範囲で発令	氾濫発生情報	(大雨特別警報(浸水害))※3	(大雨特別警報(土砂災害))※3	
警戒レベル4	・指定緊急避難場所等への立退き避難を基本とする避難行動をとる。 ・災害が発生するおそれが極めて高い状況等となっており、緊急に避難する。	・避難勧告 ・避難指示(緊急)※2 ※2緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令	氾濫危険情報	・洪水警報の危険度分布(非常に危険)	・土砂災害警戒情報 ・土砂災害に関するメッシュ情報(非常に危険) ・土砂災害に関するメッシュ情報(極めて危険)※4	
警戒レベル3	高齢者等は立退き避難する。 その他の者は立退き避難の準備をし、自発的に避難する。	避難準備・高齢者等避難開始	氾濫警戒情報	・洪水警報 ・洪水警報の危険度分布(警戒)	・大雨警報(土砂災害) ・土砂災害に関するメッシュ情報(警戒)	
警戒レベル2	避難に備え自らの避難行動を確認する。	洪水注意報 大雨注意報	氾濫注意情報	・洪水警報の危険度分布(注意)	・土砂災害に関するメッシュ情報(注意)	
警戒レベル1	災害への心構えを高める。	警報級の可能性 ※平成31年出水期から「早期注意情報」という名称も用いる				

※3 大雨特別警報は、洪水や土砂災害の発生情報ではないものの、災害が既に発生している蓋然性が極めて高い情報として、警戒レベル5相当情報[洪水]や警戒レベル5相当情報[土砂災害]として運用する。ただし、市町村長は警戒レベル5の災害発生情報の発令基準としては用いない。

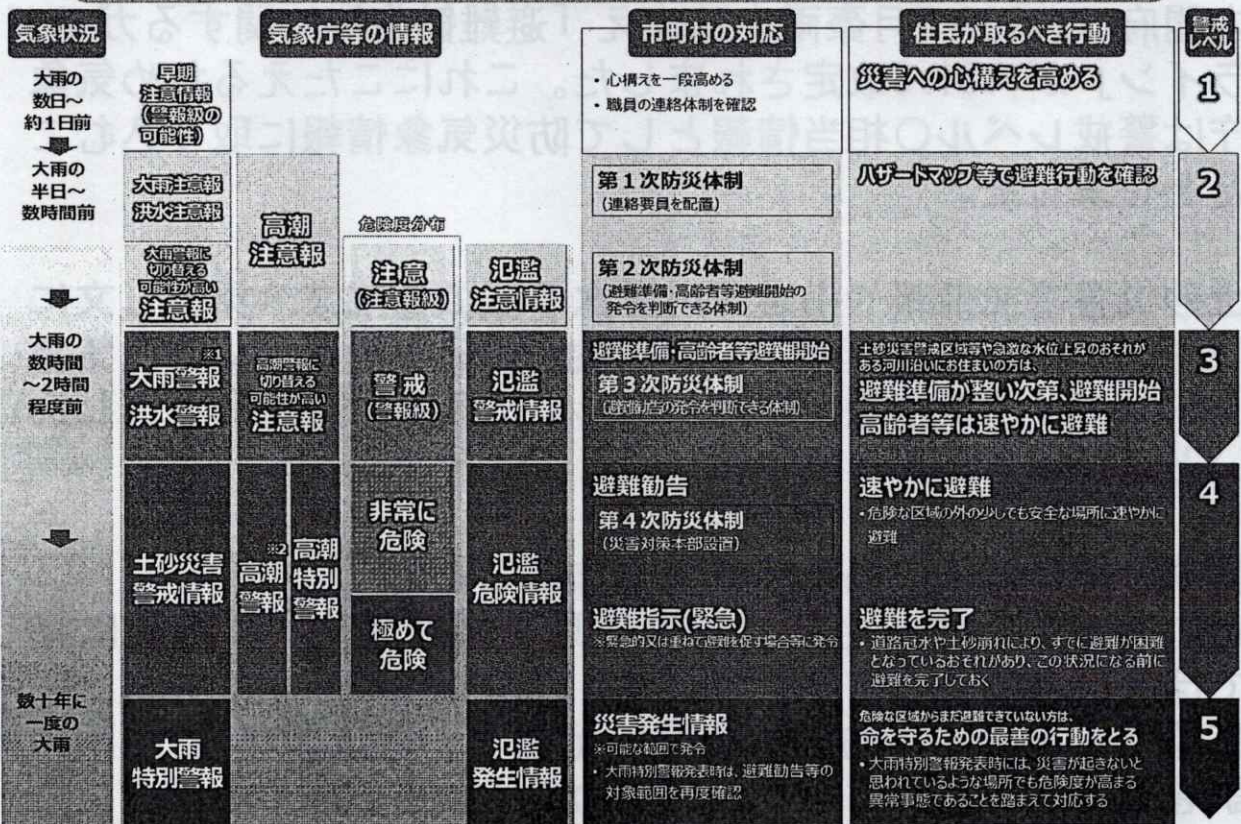
※4 「極めて危険」については、現行では避難指示(緊急)の発令を判断するための情報であるが、今後、技術的な改善を進めた段階で、警戒レベルへの位置付けを改めて検討する。

注)市町村が発令する避難勧告等は、市町村が総合的に判断して発令するものであることから、市町村の避難勧告等の発令に資する情報が出されたとしても発令されないことがある。

注)土砂災害警戒判定メッシュ情報(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)、都道府県が提供する土砂災害危険度をより詳しく示した情報をまとめて「土砂災害に関するメッシュ情報」と呼ぶ。

防災気象情報の活用

危険度の高まりに応じて段階的に発表される防災気象情報とその利活用

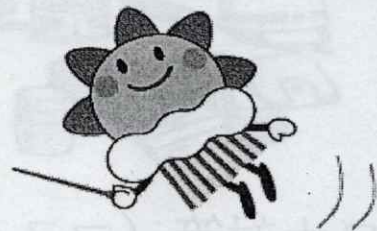


※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。

※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

「避難勧告等に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

8.災害への備えについて



コセホホホ (等前蓄蓄 バスマ) 東政マロロ

紀の川洪水ハザードマップ (和歌山市HP)



最後に「自分は大丈夫！」とは思わない



人には「たぶん大丈夫」「自分は大丈夫」と、自分に都合よく考えてしまう傾向があります。

このような考えをすてて、安全第一の行動をとりましょう！

せいじょうかのへんけん

このような心理傾向を「正常化の偏見」といいます。

61

おしまい

